

2018-3-18

“街道テクテク中山道” (STF 関連) No. 8

参加者：芦沢拓也、荒木義修、碓貴臣、佐熊範和、黛政男、太田哲夫、後藤幸子、染谷みどり、政芳一、矢崎文彦、高野泰三郎、山岸任、三木和幸、木村芳一

行程：深谷→本庄 11km

深谷駅→瀧宮（たきのみや）神社(太古、当地に住みついた先祖が湧き出る水(泉)の恵みを称えて祀ったのが始まり)→常夜燈(高さ約 4m で、中山道最大級といわれる)→清心寺(岡部六弥忠澄が討ち取り、建立した平忠度供養塔)→瀧宮（りゅうぐう）神社（大旱魃時にこの地を掘ったところ滝のごとく水が湧き出した）→二十二夜塔（二十二日の夜に人々が集まり、勤業や飲食を行いながら月の出を待つ月待ちの行事を行った女人講中で、供養のために造立した塔）→源勝院（岡部藩藩主安倍氏の菩提寺、歴代藩主の屋根付位牌形墓碑）→石仏石塔群→宝珠寺（手入れの行き届いた杉並木の参道）→八幡大神社（鎌倉鶴岡八幡宮を奉遷）→傍示堂跡（土蔵造りの堂、武蔵（武州）と上野（上州）の国堺）→大正院（成田山新勝寺の本尊のご分霊）→本庄城跡、城山稲荷神社→居酒屋にて反省会→本庄駅

- ・レンガ風タイル貼りの深谷駅前全員集合の写真を撮った。
- ・駅に近い場所に、造り酒屋である藤橋藤三郎商店（深谷の地酒・東白菊）があった。そこに寄って試飲し、土産用の酒を購入した。予想外の時間を要した。
- ・比較的暖かく、風も弱い状態であったので、歩きには好ましい条件だった。ハクモクレンがあちらこちらに咲いていた。昼食後、歩き始めてすぐの、滝岡橋を過ぎた小山川に沿うあたりは草の花が数多く咲いており、実にのどかな景観であった。
- ・龍宮神社、清心寺、源勝院、宝珠寺、八幡大神社等の、建物の作りが良好で、手入れの行き届いた神社仏閣が数多く見られた。
- ・歩く道沿いには、大きな敷地を有する新しい瀟洒な邸宅が数多く見られたが、一方で非常に歴史を感じさせる、崩れかけた家も何軒もあった。
- ・本庄城跡、城山稲荷神社には樹齢 400 年、目通り 6.3m のケヤキの大木があった（写真）。1556 年本庄実忠によって本庄城築城のときに献木されたと伝えられる。木には大きな空洞があり、また一部は最近の雷の影響と思われるが、炭化していた。それでもしっかり立ち、生命を維持していた。

